



競技課題2 競技課題1の化粧箱の中敷き作成と商品の組み入れ

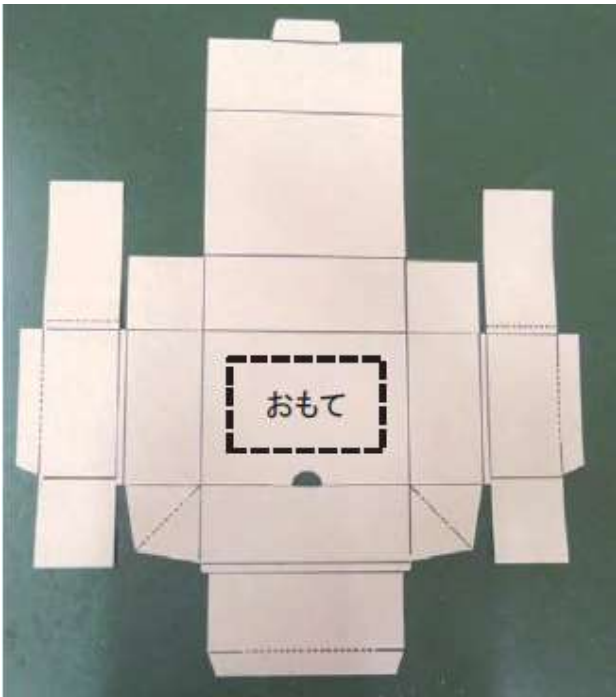
- ① 折り目がしっかり折れているか。(小箱は、きちんと立体になっているか)  
※折り目をつける順は、どこからでもいいです
- ② 中敷きの爪の部分は、2つ一緒に入っているか
- ③ 数量はあるか。
- ④ 中敷き、小箱の組み入れの向きは課題どおりか。

競技課題3 梱包緩衝材の組み立てと梱包

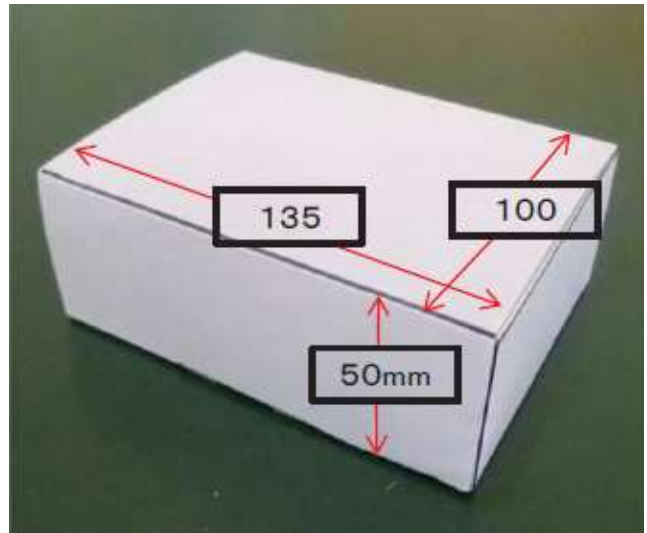
- ① 折り目がしっかりと折れているか。(きちんと立体になっているか)
- ② 正しい組み立てで作れているか。
- ③ 数量はあるか。
- ④ 化粧箱、緩衝材の組み入れの向きは課題どおりか。
- ⑤ ガムテープの止め方は、きれいか。折り返し部分の長さは課題どおりか。

競技課題1 化粧箱の組み立て  
(135mm×100mm×高さ 50mm)

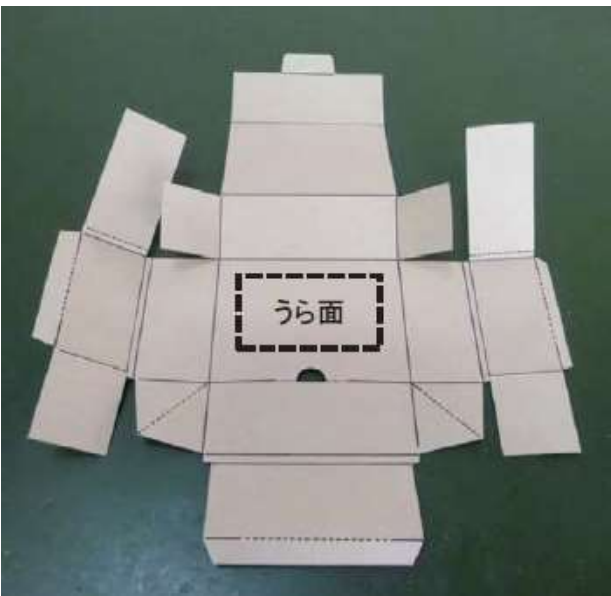
てん かい ず  
展 開 図



かん せい ず  
完 成 図



お め つ  
折 り 目 を 付 け る



※ お め つ ちゅうい  
折 り 目 を 付 け る と き の 注 意

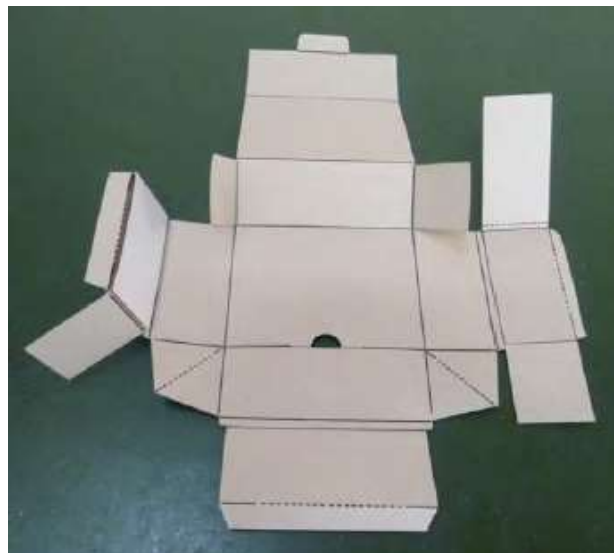
せいひん うら おもて ちゅうい  
製 品 の 裏 と 表 に 注 意 す る。

あ ら か じ め お め  
あ ら か じ め 折 り 目 を 付 け る。

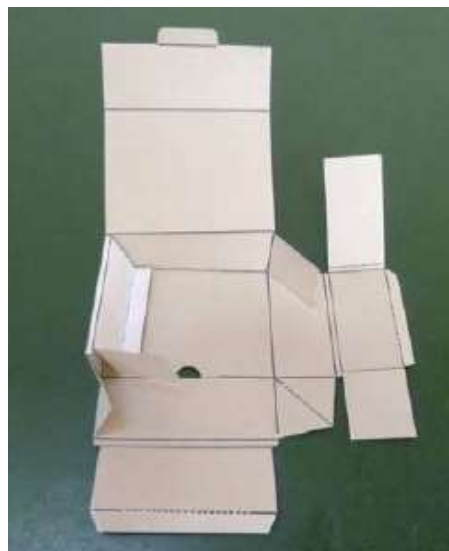
ひだり しゃしん てんかいず めん  
左 の 写 真 の 展 開 図 の う ら 面

やまお たにお ちゅうい  
山 折 り と 谷 折 り に 注 意 す る。

1. <sup>さゆうたいしょう</sup>左右対称となっているので、どちらから  
<sup>お</sup>折ってもよいが、<sup>しゃしん</sup>写真の<sup>せつめい</sup>説明は向かって  
<sup>ひだりがわ</sup>左側から<sup>お</sup>折っている。

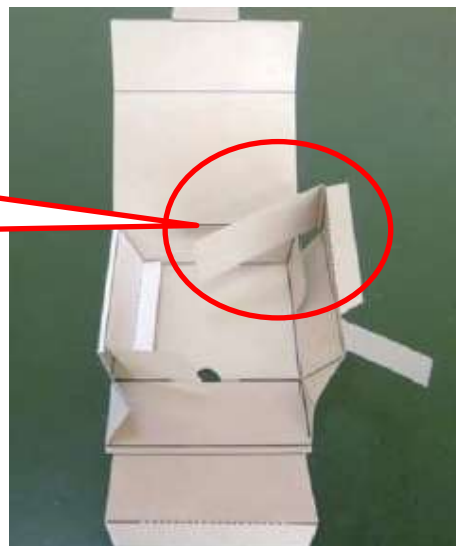


2. <sup>はこ</sup>箱の<sup>へり</sup>縁には<sup>あつ</sup>厚みを作るので<sup>つく</sup>注意する。  
<sup>ひだりがわ</sup>左側を<sup>お</sup>折りこんだら<sup>はんたいがわ</sup>反対側も<sup>おな</sup>同じように  
<sup>つく</sup>作る。



3. <sup>へり</sup>縁の<sup>あつ</sup>厚みの中に<sup>なか</sup>折り込む<sup>お</sup>こ。

<sup>なが</sup>長い方を<sup>ほう</sup>厚みの中に<sup>あつ</sup>折り  
<sup>なか</sup>込むことを<sup>お</sup>忘れずに!!



4. 左右の縁が折りこまれた状態



5. 厚みのある左右の縁の部分の折り込みを折り込んで底に押し付けた状態



6. 手前の縁の部分に厚みを付けて箱の中におこり込む。



7. 内側に折り込んだ部分が固定されるように、  
左右の底の部分に手前の底の折り返した部分を  
差し込む。

下記（1）から（3）の手順で差し込み固定する。



（1）左右の底の折り返し部分を指で持ち上げる。



（2）持ち上げた部分に手前側の折り返し部分を  
差し込む。



（3）左右の底の部分を手前の折り返し部分に  
差し込んで完成



8. 上記7の部分が固定された状態



9. ふたの差し込みを入れた状態



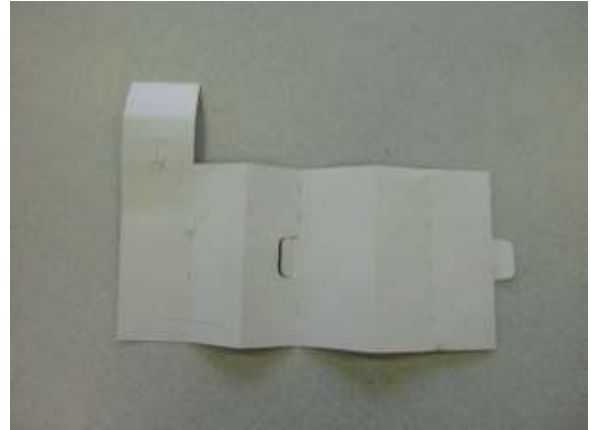
10. ふたの差し込みを下にして完成



## 競技課題2 中敷き作成と小箱の組み入れ

競技課題1で組み立てた化粧箱を使用します。

- 化粧箱の中敷きを組み立てます。  
中敷きの展開図です。【写真→】



- 山折りと谷折りで組み立てます。  
爪の部分を2つ一緒に中へ入れます。

【写真→】



- 中敷きを化粧箱に組み込みます。  
フタが必ず右側で組み込みます。

【写真→】





3. 小箱を組み立て、化粧箱の中敷きの中へ  
セットします。

(小箱は、写真のとおり差し込み口が下にな  
るようにして化粧箱に入れます。)

【写真→】



上記3のセットしたところです。

【写真→】



4. 化粧箱のフタをします。【写真→】



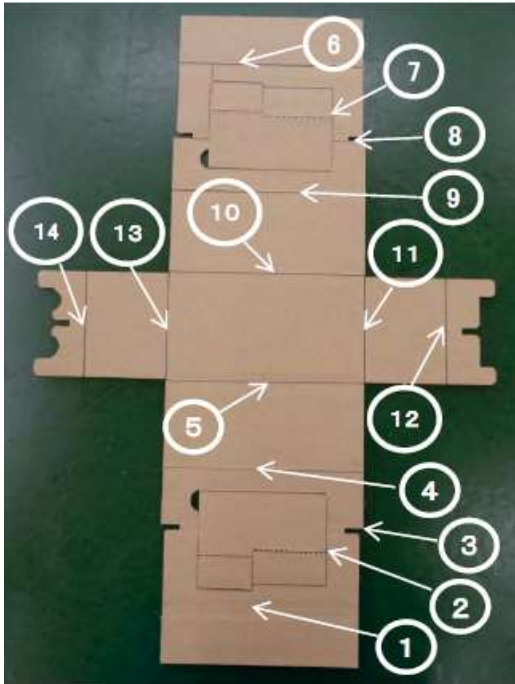
矢印の部分にフタを差し込みます。  
【写真】は化粧箱の下側から写した  
ものです。



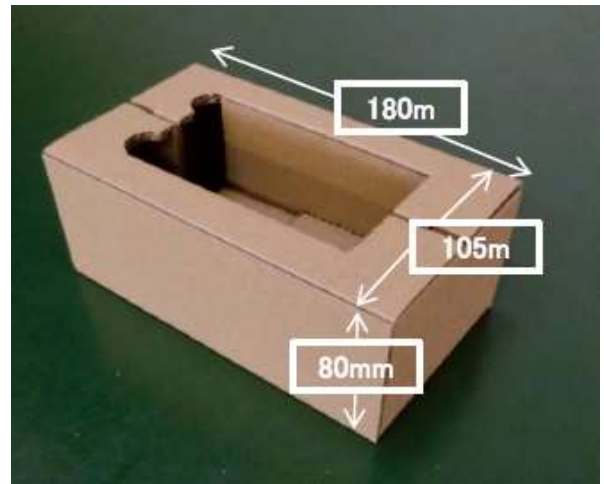
矢印の部分にフタを差し込みます。

競技課題3 梱包緩衝材の組み立てと梱包  
(180mm×105mm×高さ 80mm)

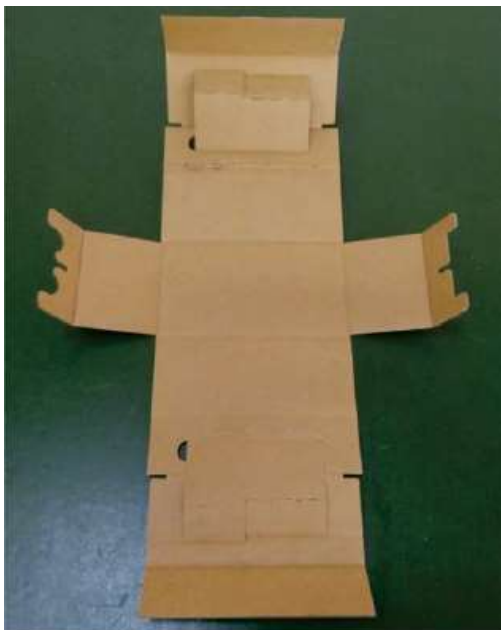
てん かい ず  
展 開 図



かん せい ず  
完 成 図



お め っ  
折 り 目 を 付 け る



※ お め っ ちゅうい  
折 り 目 を 付 け る と き の 注 意

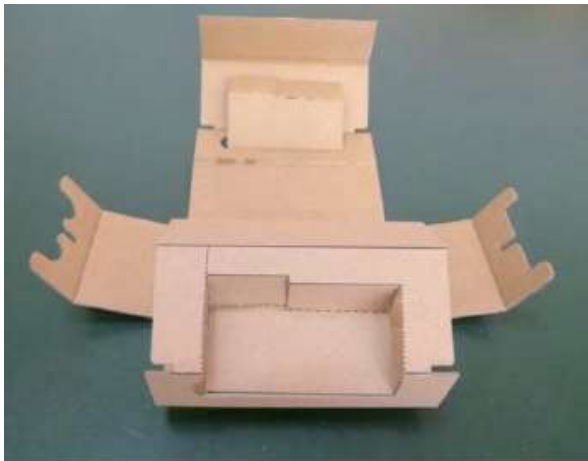
せいひん うら おもて ちゅうい  
製 品 の 裏 と 表 に 注 意 す る 。

ひだり しゃしん てんかいず うら み  
左 の 写 真 は 展 開 図 を 裏 か ら 見 た も の で す 。

ひだりうえ てんかいず せん たにお  
左 上 の 展 開 図 の ② と ⑦ の 線 は 谷 折 り に な り ま す

お め っ ちよくせつ く た  
折 り 目 を 付 け ず に 、 直 接 お り な が ら 組 み 立 て る  
こ と も で き ま す 。

①②③④を折り曲げた状態



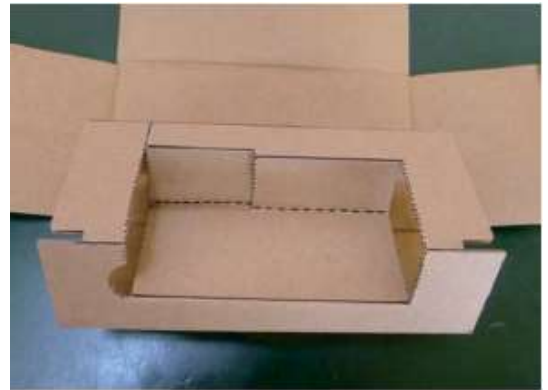
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨を折り曲げた状態



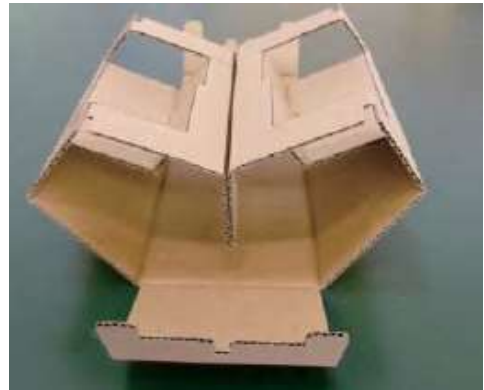
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩を折り曲げた状態



ひだり お ま ぶぶん かくだい しゃしん  
左の折り曲げた部分を拡大した写真



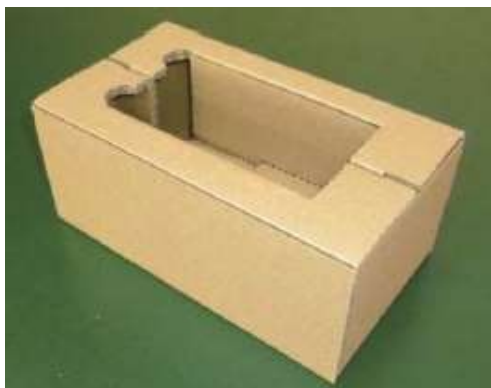
ひだり しょうたい よこ み しゃしん  
左の状態を横から見た写真



①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫まで  
お ま しょうたい  
折り曲げた状態



完成品



きょうぎかだい けしやうばこ しやう  
競技課題 1、競技課題 2 で組み立てた化粧箱を使用します。

きょうぎかだい く た こんぼうやうかんしやうざい しやう  
競技課題 3 で組み立てた梱包用緩衝材を使用します。

なかじ こばこ はい けしやうばこ  
1. 中敷き、小箱が入った化粧箱を 1 2 個  
つくります。

そとばこだん じゆんび  
2. 外箱段ボールを準備します。  
外箱段ボールを組み立て、底をガム

テープで止めます。 【写真→】  
ガムテープの折り返しは、4 cm 前後です。  
(3 ~ 5 cm なら OK)



けしやうばこ にだん はこい  
3. 化粧箱は二段で 1 2 箱入れます。  
(化粧箱の向きは 1 2 箱とも同じに  
して入れます。)

さゆう だん かんしやうざい  
左右に段ボール緩衝材を入れます。  
(緩衝材は穴が空いている方が外側  
になります。) 【写真→】



しゃしん かんしやうざい あな あ  
【写真は緩衝材の穴の空いている  
ほう そとがわ うつ  
方を外側にして写したもの→】



4. <sup>けしょうぼこ</sup>化粧箱<sup>はこ</sup>1<sup>だん</sup>2箱と段ボール

<sup>けしょうぼこ</sup>化粧箱<sup>はこ</sup>1<sup>だん</sup>2箱と段ボール<sup>かんしょうざい</sup>緩衝材<sup>はい</sup>が入っているところ  
【写真→】



5. <sup>さいご</sup>最後に<sup>そとばこだん</sup>外箱段ボールのフタをして

ガムテープで<sup>と</sup>止めます。 【写真→】



6. ガムテープの折り返し部分は  
4 cm 前後（3～5 cm ならOK）【写真→】

